

申候。其砌從微妙院様御材木少々被下候由。

- 一、百石 傳燈寺

三百五拾年以前より有之寺に而御座候。其砌建立之儀等相知不申候。承應三年從微妙院様寺御再興被成候。夫より修理被仰付候。

- 一、無寺領 小松愛宕養福院

祠堂銀五貫百目

永祿年中覺秀と申住持開基之由。慶長九年從瑞龍院様愛宕堂并拜殿御建立、承應二年從微妙院様、右之堂・拜殿共に御再興、謄摩堂・客殿・庫裏・雜藏共に御造營、并御道具等御寄進被成候。

- 一、無寺領 長谷觀音院

觀音堂始は修理谷坂之上御座候處、從瑞龍院様御祈禱被仰付、慶長六年御意を以、山屋敷被下所替仕、觀音堂・山王堂再興仕候。微妙院様御子様方御宮參被遊刻、境内狭く御座候由に而、淺野將監・石川儀兵衛被仰付、今般之山屋敷拜領仕候。元和二年從天德院様觀音堂御建立、同三年從微妙院様山王堂・客殿御建立、承應三年三重塔被

仰付、是より修理被仰付候。以上。

一 加州分社寺員數之事

- 一、加州白山以下凡社數十六ヶ所。
- 一、同曹洞宗寺數六十四ヶ寺。
- 一、同臨濟宗同斷十一ヶ寺。
- 一、同天台宗同斷十五ヶ寺。
- 一、同眞言宗同斷三十ヶ寺。
- 一、同淨土宗同斷二十六ヶ寺。
- 一、同日蓮宗同斷六十四ヶ寺。
- 一、同時宗同斷一ヶ寺。
- 一、同一向宗西方拾二ヶ寺。
- 一、同東方百三拾七ヶ寺。
- 一、同山伏當山方八十七ヶ寺、本山方三十六ヶ寺。

三 越中分社寺領・寺領並御修覆地之事

- 一、三拾石

殖生八幡宮

八幡之社は、養老年中より御座候由申傳候。慶長五年に瑞龍院様御建立、寛永十年微妙院様御再興、夫より御代々修理被仰付候。

- 一、拾二石五斗

高岡稻荷社

- 一、拾石 國府一宮

一宮は、養老三年以來御座候、社頭之由申傳候。中古亂世に而及大破候所、正保二年從微妙院様、本社・拜殿御再興被成候。夫より修理被仰付候。慶安三年社領拾石御寄進被成、宮林之儀如先規被下候。

- 一、三百石

高岡瑞龍寺

外

三拾五貫目 祠堂本銀

七百拾二匁 二步之步入

但、朱封銀を丁銀に直し步也。

三拾六貫三百拾二匁 唯今銀高

瑞龍院様富山に被成御座候時分、御意を以、金澤寶園寺廣山長老、慶長年中に富山へ隱居、自分に寺取立、其以後高岡に引越、瑞龍院様御逝去御位牌被立、其砌より寺號瑞龍寺と被改、承應年中より今方御寺從微妙院様御再興、寛文三年御作事御造畢、御位牌御移被成候。

- 一、五拾石

塔頭 東漸庵

- 一、三拾石

法性庵

- 一、三拾石

林洞庵

- 一、三拾石

龜占庵

右四ヶ寺瑞龍寺御再興之時分、微妙院様被仰付、明曆三年に出來仕候。

- 一、五拾石

高岡 繁久寺

永祿年中に、於射水郡加納中務と申者發起之由。其以後高岡に引越、達候處、從微妙院様、瑞龍院様御墓守被仰付候。

- 一、六石八斗

氷見 光禪寺

- 一、拾二石三斗九升

西田 國泰寺